

むささび

第42号

令和3年1月31日発行

JForest 北信州森林組合
〒383-0061 中野市大字壁田938-1
TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350
URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
E-mail musasaki@jforest-kitashinshu.or.jp



4tセルフクレーン付きトラックが納車されました。利用事業や販売事業で使用されます。 関連記事8ページ。



組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください！
<http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
スマートフォン対応となっています。

主な内容

年頭のごあいさつ	2
飯山庁舎屋根改修	3
林材安全で当組合が紹介される	4
林業労働災害撲滅キャンペーン	4
豊田小に木彫りの像を贈呈	5
飯山市富倉地区で熊対策講習会開催	5
下高井農林高生に インターンシップ実施	6
高社山四区共有林が林野庁長官賞	7
高社小学校木工クラブ	8
4tトラック更新しました	8
1月1日付人事異動	8

年頭のごあいさつ



北信州森林組合
代表理事組合長 清水 侃

あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、命や社会生活、経済も計り知れないダメージを受けました。今なお、勢いは衰えていません。公的な支援の裏付けとともに、私たち一人一人も一層留意し、一日も早い終息を祈りたいと思います。

さて、令和2年度、当組合の運営につきましては、木材の販売価格は低調ながら、冬の寡雪の影響で、春先からの現場作業が順調に進み、国有林事業についても、円滑な業務推進にご協力いただきました。また、受託事業での組合員の皆様方のご協力等により、上半期では、事業総利益が前年同期を3割以上上回る結果となりました。

コロナ禍の影響が大きく現れ始めたのは秋口で、木材需要の落ち込み、価格の下落、合板材滞留の兆しから、延べ450日を超える休業を実施し、国からの助成金を受けるなどして、損失の軽減に努めてまいりました。木材需要は、降雪期以降やや復調の様相もありますが、動向を注視していきたいと考えています。

かつて森林・林業は、木材の輸入自由化や円高の逆風も受け、以来、不遇の時代を非常に長い間、強いられてきました。先人たちが大変な労力を費やして植林したスギやカラマツ林の多くが、今、伐期を迎えています。こうした資源にしっかりと光が当たることを私たちは望んでいます。

幸い、林業の成長産業化と森林のもつ多面的な機能の回復も視野に、森林経営管理法、森林環境譲与税など林政の新しい時代がスタートしました。市町村が民有林の所有者から委託を受けて直接管理したり、林業経営者に再委託したりして、管理していくもので、その原資は森林環境譲与税です。市町村が主体となる、この「新たな森林管理制度」は、運用面等で課題もありますが、森林組合の立場からも深くかかわって、組合員の皆様の負託にお応えできるよう、役職員一同、力を尽してまいりますので、皆様のさらなるご協力をお願いいたします。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げて新年の挨拶といたします。

組合発展のため頑張っております

職員一同	代表	業務	総務	業務副委員長	総務副委員長	業務委員長	総務委員長	副組合長	代表理事組合長					
	監事	委員	委員	委員	委員	委員	委員	理事	理事					
	西方俊也	高坂亀美雄	森和樹	佐藤次雄	小嶋秀治	瀧澤俊實	関保典	丸山隆久	丸山隆久	吉池茂敏	藤澤敏孝	平田幸男	竹内義明	清水侃



飯山庁舎の屋根改修工事を

行いました。

現在、利用事業室が入り業務を行っています飯山庁舎の屋根の改修工事を
行いました。

以前からサビによる劣化が指摘されていましたが、昨シーズンの降雪で東
側の雪崩止めが落下するなどし、改修が必要とされておりました。屋根の雪
とともに雪崩止めが落下したわけですが、幸いなことに隣家との隙間に上手
に落下し、隣家への被害が免れました。

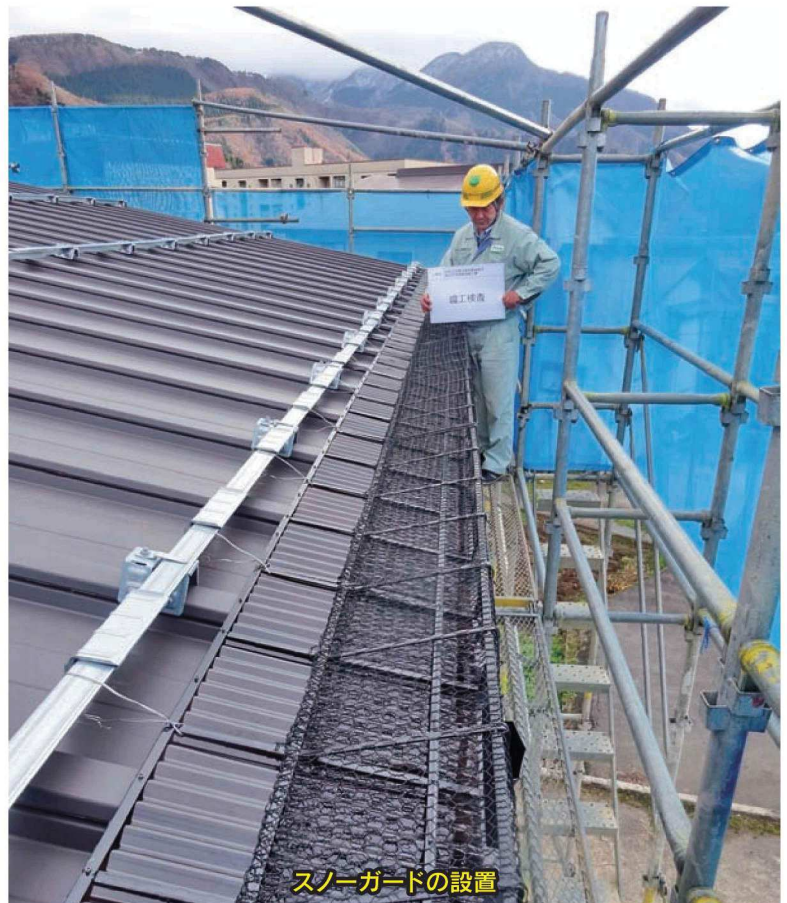
この落下により、雪崩止めが無くなってしまう、落雪による隣家への被害
が考えられることから、降雪前の施工を目指して工事を進め、11月末に改修
を終えることができました。



改修前の状況



改修後の状況



スノーガードの設置

新たにスノーガードを設置しました。

今回の工事では、飯山市内の板金業者3者を選考指名し、3者の見積りに
より有限会社岸田板金が落札し工事契約をしました。契約額は350万円(税
込み)でした。

この工事の施工内容としては、屋根全面のトタン葺き、雪止めアングル設
置、落雪防止器具設置、スノーガード設置を行いました。特に新しい屋根の
装備として「スノーガード」を取り入れました。これは、「振動式雪庇止」
というもので、風を利用して、僅かに振れる振動板により雪の張り付を防ぎ、
雪庇を防止するという物です。雪崩止めと合わせて、雪の落下による隣家
への被害も防げます。

今シーズンは12月から大雪となりましたが、改修工事を行ったことで、利
用事業室の職員も安心して業務にあたっています。

「林材安全」で当組合の

安全衛生の取組紹介

林業・木材製造業労働災害防止協会の機関誌「林材安全10月号」で当組合の労働安全衛生の取組みが紹介されました。

内容としては、組合長の労働安全衛生への想いと方針、安全装備や作業マニュアルなどの安全基盤、労働安全衛生組織などについて紹介されました。特に10月1日からの全国労働衛生週間に合わせて、当組合の労働衛生の取組みと、衛生管理体制について取り上げられています。

労働安全については、森林組合はじめ事業者においても取組みがされていますが、労働衛生については当組合の取組みが、たいへん優れているということでした。現在、産業医1名と衛生管理者2名を配して、衛生委員会とともに労働衛生活動を行っています。こうした取組みは他では見られないように、当組合の取組みを評価いただいたようです。

企業事例 北信州森林組合の取組

安全を守る熱い想いとテクノロジーの融合で災害ゼロに挑む!

県歌であるカモシカ(右)と県鳥であるライチョウ(左)など、チェーンソー彫刻が玄関前に配置された組合事務所

長野県中野市にある北信州森林組合は、長野県の最北部に位置し、平成13年12月にそれぞれ別々に存在していた中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、豊田村の6組合が合併して設立された。

以来、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村の2市1町2村という広範な地域の山林管理や特殊伐採、木材加工に携わってきた。

また一方で、雪が多い地方であるため、行政機関に委託された公道や、スキー場や温泉施設など民間施設での除雪にも携わっている。

近年では全国に先駆け、信州大学との航空レーザー計測データなどのICT（情報通信技術）を活かした境界の明確化などの先進的な取り組みも行っている。

今回はそんな同組合の労働災害防止に対する取り組みについて、本年5月に就任されたばかりの清水侃組合長と田中忠参事、中沢千恵子業務課主事（衛生管理者）にお話を伺った。

北信州森林組合の管理範囲
(長野県北部)



北信州森林組合の概要

- 設立：平成13年12月
- 役員：理事12人、監事2人
代表理事組合長 清水侃
代表監事 高松竜典
- 組合員数：5,466人（令和2年2月末現在）
- 生産する主な樹種：スギ
- 技能職員数：29名（令和2年4月1日現在）
林産班5班24人（過年）
造林班5人（過年）
利用事業班2人
特定自主点検事業内検査者1名（有資格）
- 事務職員数：職員16人、技能技術員5人、業務補助員1人、嘱託職員1人（令和2年4月1日現在）



清水侃 代表理事組合長



田中忠 参事

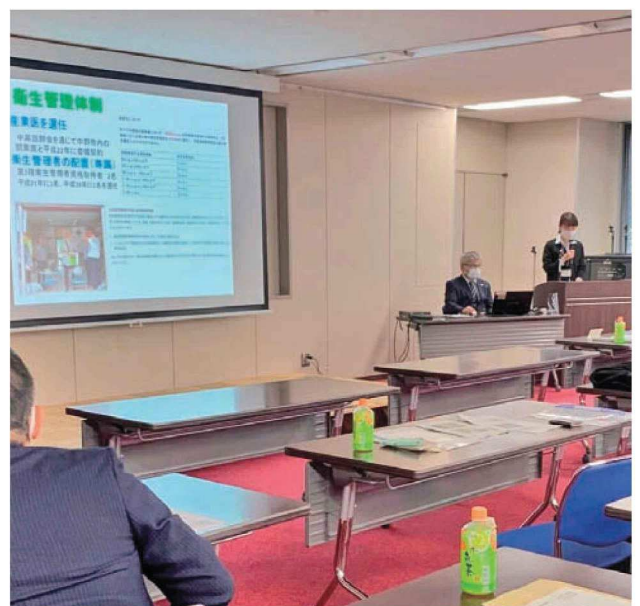


中沢千恵子 業務課主事

10 | 林材安全 2020・10

林業労働災害撲滅キャンペーンで発表

… 長野会場で事例発表を行いました。…



事例発表する衛生管理者の中沢主事

10月22日にJ A長野県ビルで（二社）林業機械化協会主催の令和2年度林業労働災害撲滅キャンペーンが開催され、長野県からの推薦で、当組合が労働安全衛生活動について事例発表を行いました。

発表では、労働安全衛生組織と労働安全の取組みを安全衛生管理者の田中参事が行い、労働衛生の取組みを衛生管理者の中沢主事が行いました。

衛生管理については、冬季事業である除雪業務が深夜となるため、当組合では深夜業従事者の健康管理をしっかりと行う必要もあり、他組合よりも労働衛生体制を整えております。そうしたことの積み重ねが、今回評価されたものと思います。

主催の林業機械化協会さんからは、発表の後で、たいへんすばらしい取組みだと評価をいただきました。

衛生管理者

労働安全衛生法で50人以上の労働者がいる職場では衛生管理者の選任が義務付けられています。選任にあたっては、第1種衛生管理者免許（国家資格）が必要になります。

4月に新設の豊田小に

木彫りの像を贈呈

4月に中野市の豊井小学校と永田小学校が統合して開校する「中野市立豊田小学校」の記念に、木彫りの像2点を豊井小に贈呈しました。

この像は、小諸市でチエーンソーアートを製作する饗場良夫さんが製作したものです。一つはフクロウが二羽彫られています。もう一つは熊で、未完成のものです。これから子供たちがサンドペーパーで磨いて塗装等をして、統合の記念とするものです。饗場さんには、下高井農林高校の森林活用コースの生徒を対象に行っているインターシップにおいて、チエーンソーアートの指導を10年以上行っていたり、今年度のインターシップでは、テーマを熊として講習していただきました。

その際に見本として、今回の熊を製作していただきました。フクロウについては、饗場さんから新小学校へのプレゼントとして当組合がお預かりしたものです。

受領した子供たちも、たいへんよろこんでおりました。今後、新しい学校で子供たちに大切にいただければと思います。



木像贈呈にあたり児童に組合長から挨拶



河川へ落下させない方法による伐採のデモンストレーション

飯山市富倉地区で

熊対策講習会が開催されました。

秋に人家周辺に出没するツキノワグマが、柿や栗等の果実に執着するケースが多く、収穫や伐採がされず放置されている立木が多いことから、今回の木の伐採のポイントや、ツキノワグマが木に登ることを防ぐ対策について、講習会が実施されました。長野県北信地域振興局が主催し、飯山市と高水林業協議会（事務局は当組合）が共催で開催しました。

当日は、あいにく雨天となりましたが、地元富倉地区の皆さんや、市町村の獣害担当者など18名が参加しました。

当組合では、長野県指導林業士の田中参事と、林業士の関技師が講師として参加し、チルホールを使い、傾いた柿の木 of 安全な伐採方法のデモンストレーションを行いました。雨天の中でしたが、合計4本の柿の木の伐採指導を行いました。

また、地域振興局林務課では、隣接する家等により伐採できない柿の木に、熊が登れないようにするための、幹へのトタン板の巻き付けの講習も行いました。

下高井農林高生にインターンシップを実施しました。

3年生には実践研修を行いました。

林野庁から全国林業研究グループ連絡協議会に委託され実施されています「多様な担い手育成事業」によるインターンシップを、林業研究グループの北信州の森林と家をつなぐ会から委託され下高井農林高校生に実施しました。この研修は平成18年度から継続して行われているものです。

今年も、新型コロナウイルスの感染防止のため、時間のかかる移動ができないことから、学校に近い範囲での研修となりました。

1年生は全員を対象に長野県の林業と木材製造業について講演を行い、2年生はグリーンデザイン科を対象にICT研修としてドローン操縦の研修を行い、3年生はグリーンデザイン科の森林活用コースを対象に高性能林業機械操作とチェーンソー操作の研修を行いました。

下高井農林高校ではグリーンデザイン科の選択コースが再編されて、森林活用コースと地域資源活用コースを設けるなどし、森林・林業へ再び重点を置くようになっていきます。



高性能林業機械操作研修



チェーンソー操作研修



ドローン操縦研修



長野県の林業・木材製造業の研修

このため、科を選択する前の1年生には森林・林業への関心を持たせるため、県内の林業と木材製造業の実情を紹介し、2年生にはコース選択を促すため最新技術の体験を行い、3年生には進路選択の参考となるように実地研修を行うなど、段階に応じたインターンシップを行っています。

今年の研修では、女子生徒が初めてチェーンソー操作（チェーンソーアート製作）に参加しました。最初は及び腰でしたが、午後になるとその姿は堂に入ったもので、男子顔負けでチェーンソーを操作していました。なお、生徒の作品は文化祭で展示されています。2年生は今年から必須となりましたICT研修で、ドローンの操作研修を行いました。全員興味があるようで真剣に研修を受けていました。1年生には県内の林業と木材製造業の現況を紹介する動画の鑑賞を行いました。初めて知ることが多いようでしたが、関心を持ってくれたのではと考えています。

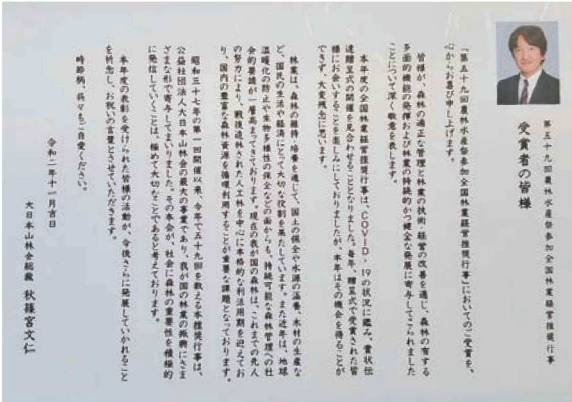
これまで、この研修の参加者が、森林組合や木材業者等への就職や、長野県林業大学校へ進学するなどの成果が出ています。

地域山林の紹介⑱ 中野市高社山四区共有林に 林野庁長官賞

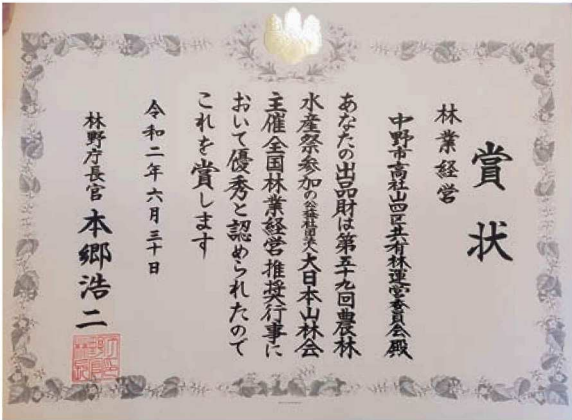
公益社団法人大日本山林会が主催する令和2年度「全国林業経営推奨行事」で中野市高社山四区共有林運営委員会が林野庁長官賞を受賞しました。

同行事では、令和元年12月に募集を始め、令和2年3月に応募を締め切り、4月下旬から6月中旬までに2回にわたり審査が実施され、今回の受賞となりました。

四区共有林は、中野市のシンボルである高社山山頂から裾野に広がる120haほどの山林です。戦後早くからカラマツの造林を行い、平成9年以降は搬出間伐を繰返し行い、市内の公共施設建設に木材を提供しています。毎年、運営委員会役員による草刈りを行ったり、地域住民を集めて森林教育を行ったりしています。最近では、テレビ信州と森林の里親契約を結び、高社小学校開校に合わせた木工イベントや、テレビ信州主催イベントでの木工教室出展など行ってきました。そうした活動が評価され、今回の受賞となりました。



皇嗣秋篠宮殿下の御言葉



林野庁長官賞



市川会長 湯本市長 田中前会長



市役所5階から共有林を望み説明する。

本来であれば11月5日に東京で表彰式が行われ、大日本山林会総裁の皇嗣秋篠宮殿下から授与されることになっておりましたが、コロナ禍により中止となりました。そのため、皇嗣秋篠宮殿下の御言葉と賞状、銀杯と記念品が贈られてきました。

12月21日に運営委員会の市川会長と田中前会長が、湯本中野市長を訪ね、受賞の報告を行いました。

今回、贈られた御言葉と賞状等は中野市北部公民館で公開される予定とのことです。

四区共有林の森林整備と木材利用

平成9年	県単間伐事業(搬出間伐)	
平成14年	林道整備、木製えん堤整備	
平成14~18年	森林整備地域活動支援交付金事業	高社山団地施設計画
平成15年	フォレストコミュニティ整備事業(搬出間伐)	高社中学校の体育館資材に間伐材を使用
平成16年	フォレストコミュニティ整備事業(搬出間伐)	平岡小学校の体育館資材に間伐材を使用
平成17年	フォレストコミュニティ整備事業(搬出間伐)	天狗山参道下に東屋が完成
平成19年	カラマツ造林地搬出間伐実施	3.9ペーパー用に出荷
平成20年	カラマツ造林地搬出間伐実施	
平成21年	地域育成林整備事業(搬出間伐)	第7分団結所建設に利用
平成26~28年	森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業	森林空間利用タイプ
平成29年	森林環境保全直接支援事業(搬出間伐)	中野市庁舎建設用として生産
平成30年	森林の里親事業契約	テレビ信州と森林の里親計画を結び
	高社山四区里山整備利用推進協議会設立	里親整備利用地域認定
	みんなで支える里山整備事業(搬出間伐)	高社小内装工事用として生産
令和元年	子供の居場所木質空間整備事業	高社小学校下駄箱DIYプロジェクト
	長野県ふるさと森林づくり賞で県知事賞	

高社小学校木工クラブで巣箱づくり

中野市の高社小学校から木工クラブの指導を依頼され、巣箱づくりを北信州の森林と家をつなぐ会と北信地域振興局林務課の協力で行いました。4年生と5年生11名でしたが、9月と10月で3回実施しました。初めに板に線を引きことを行いました。曲尺を使うことも初めてのようで、なかなかうまくいかず、初回は線を引きただけで終わりました。2回目は引いた線に沿ってノコギリで部材を切り出してサンドペーパーで磨きました。最終日には、木工ボンドで部材を接着し、更に釘打ちをし、最後にタイヤチューブを蝶番代わりに使った蓋を取付けて完成しました。

最終日は完成できるか不安でしたが、なんとか全員が完成することができ、子供たちも満足していたようです。学校では完成品を廊下に展示していましたが、この春には子供たちが家で木に取り付けるそうです。スズメやシジュウカラが巣箱で子育てをして子供たちが喜んでくれると思います。



4tセルフレイン付 トラック更新しました。

ミニバックホーや自走式チップパーなどの移送や、薪原木、杭木、細木の販売で4tトラックを使用しています。平成元年に購入したもので、経年劣化がひどく、毎年修繕をしながら使用を続けていました。

以前から更新のため、中古の良品を探していましたが、重機を積載する機能のあるセルフレイン付きが、なかなか見つかりませんでした。今回、希望に見合う中古車の紹介があり更新することができました。今後、利用事業や販売事業での活躍が期待されます。

人事異動

令和3年1月1日付

総務課長	堀澤 正彦
利用事業室付	高橋 優
業務課長代理	南都 寛
(兼) 事業係長	
業務課計画係長	尾淵 義輝

本 所

〒383-0061

中野市大字壁田938番地1
TEL 0269-38-0371(代)
FAX 0269-23-5350

利用事業室

〒389-2255

飯山市大字静間383番地14
TEL 0269-62-8111
FAX 0269-67-0120

編集後記

今年度は、コロナ禍でイベントや研修もなくなり、広報誌で皆さんに紹介する事案も少ない中で、なんとか3回の発行ができました。

このコロナ禍がいつまで続くか不明ですが、来年度も3回の発行を目指してまいります。